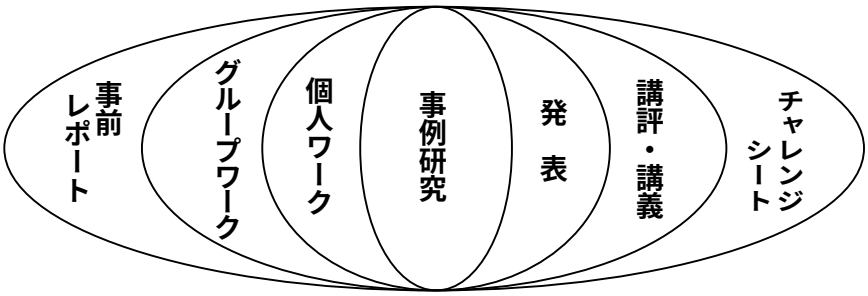
MTS Management Thinking Study

ベーシックコース



＜内　容＞

はじめに
１．研修の狙いと基本的な考え方
２．研修の方法
３．本コースの構成
４．テキスト構成
５．標準カリキュラム
６．実施要領

日本コンサルタントグループ

はじめに

我々の成長過程に節々があるように、企業も社会・経済環境に対応しながら年輪を重ねていく過程で、多くの厳しい波を経験し、成長・発展を遂げてきました。

しかし、今日の我々を取り巻く環境は、社会・経済の変革とともに、働く人々の意識や人と仕事との新しい関係、そして地域社会と企業との新しい関係づくりなど、我々がこれまでに経験したことがない内容で新しい対応を求めております。

したがって、マネジメントのあり方にも大きな変革が求められているわけです。その変革は、３つのキーワード－①スピード（経営活動、意思決定）、②柔軟性（戦略、行動）③グローバル化（ボーダーレス、規制緩和）－を基調としております。

それは、あらゆる面においてのキャッチ・アップ時代の終わりを告げていることであり、新しいパラダイムの中で、自らの進むべき方向は自ら思考し、自らの手で創り上げることの必要性が求められている時代なのです。

換言すれば、企業も個人も“自らは何をなすべきか”を自らの意志で明確にするとともに、その具現化が図れる力（戦略的思考）を持つことが、これからのマネジメントの基本なのであります。本コースは、これからの管理者づくりのファースト・ステップを成すものであり、自信をもってお薦めするものです。

そのような管理者は、一朝一夕で育成できるものではありません。そのためには、初級管理者の段階からの周到な育成計画が必要です。それには、すべての初級管理者がこれからの時代に必要とされるマネジメントの全体像を明確に理解し、管理者としての役割認識を確立し、管理者行動の基本（コミュニケーション、モチベーション、リーダーシップ）を実践できるようにすることが、必要不可欠であり第一歩です。

１．研修の狙いと基本的な考え方

１）研修の狙い

- 厳しい経営環境の中で、組織の中枢を支える管理職にとって必要とされるマネジメントの基本的スキルについて理解（気づき）をするとともに、特に部下の指導・育成については、実務に連動できる内容で修得することを狙いとしております。
  具体的には次の通りです。
  ① マネジメントの基本を体系的に理解する。
  ※ 配布されたテキストをもとに、事前学習にて修得します。

  ② 特に部下の指導・育成については、具体的なスキルを修得する。
  ※ 管理職として部下との接点をどのように強化するか、その基本スキルを修得します。

  以上のように考えております。

２）基本的な考え方

- 本研修は単なる知識賦与的な講義形式ではなく、受講者一人ひとりが主体的に参画する内容とします。

（１） 管理職として必要なマネジメントの基本を事前学習にて修得していただきます。
① 管理職として求められる基本知識（本来業務・What to do）と基本スキル（人を動かす知恵・How to do）について再認識します。
② 集合研修の場においては「部下の指導・育成」にウエイトをおいて進めます。

（２） 研修にあたっての基本的な考え方は以下の通りです。
① 集合研修の「事例」については、貴社の現状課題（部下との接点）から必要であれば開発します。
② 個人ワーク、グループワークを併用して、シンキング・プロセスを中心に展開します。

２．研修の方法

● 具体的な研修方法については、貴社の意向を踏まえた上で（一方的な講義形式ではなく、考えさせる研修)、以下のように考えます。

１）貴社管理職を対象として、「事前学習」と「集合研修」とを併用します。

２）集合研修の進め方は、次の３点にポイントをおいております。

① 経営実務に携わっている管理職の方々であり、講義は極力少なくし、各自が“思考し”、“議論し”、“納得し”、“演じる”ことに重点をおいた内容とする。

② したがって、ケース・スタディやシンキングシートを使って、個人ワーク・グループワークを併用して受講者が主役となった研修内容とする。

③ ここでは、単に基本知識を理解するだけではなく、ケース・スタディやシンキングを通して“気づき”と“基本スキル”を体得する。

３）事前学習の進め方は、次の２点にポイントをおいております。

① 事前に配布されたテキストは、一人ひとりにしっかり読んでいただきます。

② 事前に指示された事前レポートを作成し、提出していただきます。

以上のように考えます。

３．本コースの構成

● 本コースは事前学習と集合研修の併用とする。

事　前　学　習

目　的

- 研修効果（特に集合研修）を高めるために、基本的な考え方や基礎理論については自己学習にて補習する。
- 受講者としての準備をさせる。

内 容

- １ヶ月前にテキスト配布
- 環境変化と自分たちの役割の認識
- マネジメントの基礎理論の学習

↓

事前レポート

- 設定課題の作成
- 指定シートへの解答記入

↓

集　合　研　修

目　的

- マネジメントの基本を事例を通じて体系的に修得する。
- 管理者として真の自覚と変革への気づきを促す。

内 容

- 事例を中心に据えたシンキング・スタディ
- 合宿形式　２泊３日
- 環境変化と自分たちの役割
- 問題解決と対人スキル
- チャレンジシートの設計

４．テキスト構成

第１部
管理者としての出発点
第１章　主体性の発揮に向けて
第２章　効果的な職場運営
第２部
管理者の本来業務
（ WHAT TO DO ）
第１章　計画的業務推進
第２章　問題解決と改善
第３章　組織づくり
第４章　部下の育成
第３部
管理者の人を動かす知恵とスキル
（ HOW TO DO ）
第１章　コミュニケーション
第２章　モチベーション
第３章　リーダーシップ
第４部
管理者としての新たなスタート
第１章　自立、キャリア開発への挑戦

５．標準カリキュラム

第１日目		第２日目		第３日目	
12:30	受付	8:30 12:00	**第２部　管理者の本来業務** １．計画的業務推進 1) マネジメント･サイクルの基本 ※ ビデオ －課長の仕事の進め方－ 2) Ｐ･Ｄ･Ｓの要点 ２．問題解決と改善 1) 問題解決の基本 ※ 事例 －東日本担当販売課が直面した問題－	8:30 12:00	２．モチベーション 1) モチベーションの基本 2) 効果的なモチベーションの発揮 ※ビデオ－部下を動機づける言葉－ ３．リーダーシップ 1)リーダーシップの発揮
昼　　食		昼　　食		昼　　食	
13:00 14:10 18:00	● 開講挨拶、研修オリエンテーション ● 管理者基礎能力テスト **第１部　管理者としての出発点** １．主体性の発揮に向けて 1) 私の仕事観、会社観 ・ 自己紹介 ※グループ編成 ２．効果的な職場運営 1) 私たちの立場と役割 ・ 職場運営のとらえ方 ・ 私たちの立場と主な役割	13:00 15:30 18:00	2) 創造性の発揮 ３．組織づくり 1) 組織運営の基本 ※ ビデオ －Ｓ社員の不満－ 2) 組織の再設計 ４．部下の育成 1) 部下育成の基本 2) ＯＪＴによる部下育成 ※ グループ再編成 **第３部　管理者の人を動かす知恵とスキル** １．コミュニケーション 1)コミュニケーションの基本	13:00 16:00	2)効果的なリーダーシップの発揮 ・ 部下の成熟度把握 **第４部　管理者としての新たなスタート** ● 管理者としての振り返り ● チャレンジシートの作成 ● 研修のまとめ ● 閉講挨拶 ● アンケート実施
夕　　食		夕　　食			
19:00 21:30	2) 組織と目標 ・目標連鎖 ・部下を通じての目標達成	19:00 21:30	2)効果的なコミュニケーションの発揮 ※ ロールプレイングによる演習		

６．実施要領

対　象　者

　新任の管理者または今後管理者として途用するにあたり、マネジメント教育を必要とする方々。
　マネジメントの基礎を再度確認し、振り返りが必要な管理者。

定　　員

２０名以内

必要時間数

３５時間

研修方法

　標準としては合宿で行いますが、具体的な実施方法については、事前打ち合わせにてカスタマイズしてまいります。

標準プログラム → カスタマイズ

３泊４日コース → １泊２日×２回コース / ５日間通学コース